

TOP Interview

株式会社福岡カホスイミングスクール 田代健次理事長にお話を伺いました。

Point!

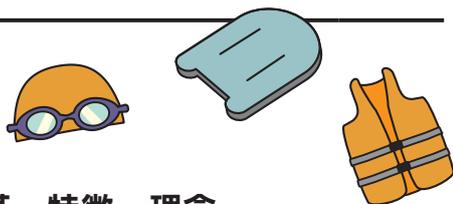
- ☑ スイミングスクールや指定管理事業など幅広い事業への取り組み
- ☑ 人柄を重視したシニア人材の積極的な新規雇用
- ☑ シニアが活躍できる環境づくり

専務
田代千賀子氏理事長
田代健次氏副理事長
加藤洋子氏

株式会社

福岡カホスイミングスクール

❖ 所在地	飯塚市有安1025-3
❖ 業種・事業内容	スイミングスクール
❖ 設立	1985年1月28日



企業の沿革、特徴、理念

御社の沿革などお聞かせください。

1985年に会社を設立して、2024年の5月で39周年になります。

きっかけは、所有した土地の使い道として、健康産業として活用するといいいのではないかと話になったことです。たまたま水泳関係に知り合いがいて、その人に相談すると、ノウハウ等全部教えてくれることになりました。

加えて、私は青年会議所で、青少年健全育成や地域作りの勉強を8年間やってきたので、青年会議所の考え方を活かせるなということでスタートしました。

従業員数
85名
※取材時最高齢者
74
歳60~64歳
20名65歳以上
35名

出会いと縁と巡り合わせで支えていただいて、今日があります。

御社の事業や特徴について教えてください。

事業はスイミングスクールがベースですが、今から18年ほど前、合併して嘉麻市になる前の稲築町でプールを中心とした健康増進施設が作られ、弊社がその施設の指定管理の第1号として指定されました。これが指定管理事業に踏み出したはじめです。

2007年には、筑豊緑地の指定管理者にも指定を受け、その数年後には、苅田町の施設の指定管理者に指定を受けました。

ここで一番神経を使ったのは、行政は、施設の従業員

TOP Interview



25m温水プール

子がないのかと疑問に思いました。オランダには、国の施策として「ディプロマ」というプログラムと、他にも小学校4年生ぐらいまでに、400mをほぼ全員が泳げるようにするという生命を守るプログラムがあることが理由でした。

いずれ、オランダで勉強したノウハウを、映像などで発信して、他のスイミングスクールや各地にも広めていけるように頑張らないといけないと考えています。

に、水泳ができるか、水質の安全管理はできるかなどの資格を求めるとい点です。行政との仕事をするためには、まず資格を取らなければいけないと考え、かなり資格取得に力を入れました。それがうまくマッチして、行政に関連する仕事に繋がりました。

スイミングスクールではどのような取り組みをされていますか。

今スイミングスクールでは、着衣水泳に力を入れています。着衣水泳授業を毎年実施したり、学校から要請があれば、指導に行ったり、先生方にレクチャーしたりもしています。

水泳に関わっている以上、私たちは、溺死する子を出してはいけない。もっと着衣水泳を広めるべきだと考えています。

それにはやはり原点を見ようということで、2006年に職員を着衣水泳の本場であるオランダへ勉強に行かしました。

オランダは運河が多く海拔が低いため、あちこちに水路があり、いつでもどこでも水に落ちる環境です。運河の周りに柵もほとんどしていない。でも、溺れて死ぬ子はほぼいません。どうしてそんな環境にあって、溺れる

学校からは着衣水泳の指導要請が増えていきますか。

はい、増えてきています。

幼児期、小学校の低学年のときに体で覚えるということ、洋服を着たまま水中に飛び込んで、どれぐらい泳ぎづらいつか、重いとか、沈むとか、それを体験することが大事。事故は突然起こります。それを未然に防いでいきたい。

スイミング事業を運営する企業としては、必ず着衣水泳に取り組まないといけません。弊社の5つの理念のうち、「尊い生命を守る」を、5つの頭に持ってきています。速く泳ぐよりも、命を守ること、これが1番大事なことで考え、着衣水泳の普及活動に力を入れて取り組んでいます。



シニア人材の雇用（継続雇用・新規雇用）

.....

シニア人材を雇用するようになったきっかけをお聞かせください。

きっかけは、指定管理事業に踏み出したことです。スイミングの場合、プールの中で指導をすることは、シニアにとっては体力的な面で難しくなります。弊社の従業員も、いずれ高齢になるので、その人たちの働く場所を確保するという狙いもあり、指定管理事業に踏み出しました。指定管理事業は、施設の管理と衛生面、そして、利用者の方の安全面のチェックが主なので、管理能力があれば、体力はそんなに必要ありません。要は監視役で、熱中症で倒れたり、突然つまずいて転倒したり、そういう時に対応することが必要。

弊社に元からいた従業員だけでは人数が足りないので、前職で役職に就いていた、管理的な視点を持っている方にも来ていただいています。人を相手にする仕事ですから、気配りや、目配りなど、顔色が悪そうな人に声をかけることができるような視野を持つ人であれば、特別専門的なことは必要ありません。



継続雇用の方はいらっしゃいますか。

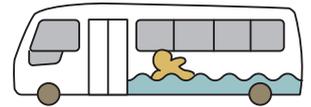
継続雇用の方もいますが、新規採用の方が多いです。

会社は、65歳が定年です。体力的にも、健康面にも問題なく、仕事の意欲があれば70歳まで再雇用しています。また、それらがある方は70歳を過ぎて雇用しています。

どのような点を重視して人材を採用していますか。

仕事ができるできないではなく、人柄を重視しています。仕事は時間をかければ、覚えの早い遅いはあります

が、自然と覚えていきます。しかし、人柄は変えられない。人柄を重視して採用しています。ある程度の力も必要ですけど、最終的な決め手は人柄です。人柄が良ければ、どんな仕事もできます。できないときは、周りが助けてくれますから。



業務内容

.....

シニアの業務内容をお聞かせください。

指定管理施設では、安全管理、衛生管理や水質のチェック、受付業務、トレーニングルームの監視、25mプールの監視、清掃、シャワー室やトイレ、更衣室の清掃が主な業務です。7～9月の3か月は屋外の50mプールも対象となります。

スイミングスクールでは、スクールバスの運転手としても3、4人雇っています。

勤務形態についてお聞かせください。

全員に、月々、出勤できる日を出してもらい、それを元に出勤する日を決めています。この時間に入ってください、と勤務時間を指定する場合があります。

少ない人で週に2、3回、一日6時間程度。多い人は週に3、4回。それ以上の人はあまりいません。休憩が必要な時間働いている人には、きちんと休憩を取ってもらっています。

再雇用になる前となった後で業務内容に変化はありますか。

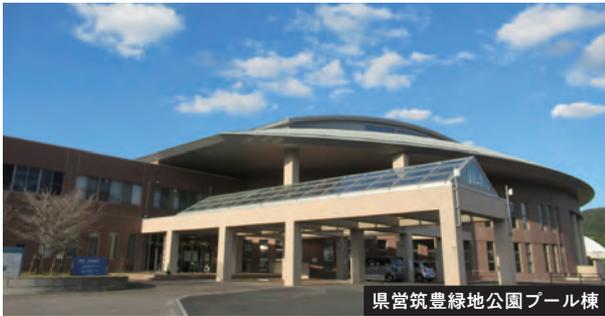
特に変化はありません。再雇用後に新たな業務を増やすことはないようにしています。慣れた業務を継続していただき、新しいことをするストレスを軽減しています。

研修は実施されていますか。

セクハラやパワハラなどの、社会的なもの他、救急蘇生法については営業終了後に従業員同士で実技を行ったり、消防署の方に来てもらい、救急蘇生法を学ぶ研修もしています。その他、自主授業というものがあり、自由参加で健康管理の仕方などのセミナーを開催しています。

TOP Interview

各業務の、連絡事項や業務のやり方、マニュアルをどういう風に相手に伝えるかなどは現場でその都度レクチャーしています。



県営筑豊緑地公園プール棟

高齢者の体力を考慮した環境づくりを行っていますか。

わりとみなさん元気に働かれています。荷物を抱えるとか、運送業みたいに持ち運ぶ様な体力が必要な仕事はありません。監視業務は、溺れている人がいないか、目視で見て回ったり、水質をチェックしたりと体力が必要な場面は少ないです。冬場に保温のため、プールにシートをかけるときに少し力がある程度で、慣れると働きやすい職場だと思います。

高齢者の方たちには、利用者の方から信頼を受けるポジションで働いてもらっています。一部苦情を言う方が

いらっしゃいますが、そういう時はすぐ管理者に連絡してくださいと言っています。監視カメラもそういう人の抑止力として作動しており、できるだけ、皆さんが働きやすいように環境を整えています。

今後の展望

今後のシニア人材の活用について展望をお聞かせください。

シニア人材は、経験や実績をきちんと積んでいるので、それなりの対応力がある方たちです。現場に応じて、対応することができる処理能力があります。

一番は、健康面に気をつけてくださいと言っています。熱とか体調が悪い時は休んでくださいと。中には持病がある方もいらっしゃると思います。健康面は自己管理で、熱がある時は休んでもらっています。

高齢者の方たちには、できるだけ長く働いてもらいたいと思っています。たまに利用者の方から、高齢者が多い職場だと言われますが、以前に比べると、やはり高齢者の方はみんな若いです。腰や膝が悪いと言う方はいらっしゃいますが、健康で働けるうちは、働きたいという方が大半です。とにかく元気に働いてもらいたいです。



STAFF Interview



もりわきしんいち
森脇 眞一 さん

68歳
取材時

去年の7月から筑豊緑地プールで勤めており、働いて1年ほどになります。

ここに来る以前は、手術してリハビリで筑豊緑地のプールに来ていました。そのときたまたま、新聞の折り込みの求人、こちらが受付を募集されていることを知り、応募して、お世話になることになりました。

業務内容は、受付、プールの監視、トレーニングルームの監視です。この現場が全て回るように現場の仕事はほとんどしています。

勤務は、大体週4日で、1日6時間が基本になっています。この施設は、朝9時から夜9時まで開いて

いて、始業の準備が8時半から、片付けで10時までです。大体、3時を境に早番と遅番のような形になっています。

同僚が、ほぼ60歳以上の高齢者になりますので、年齢のギャップを感じず、共通の話題も多いのでやりやすいですね。

病気の療養が長かったものから、働くことで、生活のリズム、メリハリが出てきますし、今後もこちらでの仕事を今のリズムで続けていきたいと思っています。